News Release

あしたを、つなぐ 野村不動産グループ

報道関係者各位

2026 年 7 月 1 日
野村不動産ホールディングス株式会社

リリースカテゴリ：サステナビリティ

野村不動産グループとして 2 度目の「Tokyo Pride 2026」出展

―「あなたにとって居心地がいい街ってどんな街？」のテーマに約 2,500 人の声が集まる ―

本ニュースリリースのポイント

1. 野村不動産グループとして 2 度目の Tokyo Pride 2026 出展
2. 当社グループの事業にちなみ「あなたにとって居心地がいい街ってどんな街？」をテーマに参加型パネルを設置
3. 2023 年以降「ジェンダー平等・LGBT に関わるお客様対応ガイドライン」を全国のマンションギャラリーにて導入するなど社外向け・社内向けに様々な取り組みを継続中

野村不動産ホールディングス株式会社（本社：東京都港区／代表取締役社長：新井聡）は、6 月 6 日（土）・7 日（日）の 2 日間にわたり「Tokyo Pride 2026」に出展したことをお知らせいたします。

当社グループは「野村不動産グループ ダイバーシティ＆インクルージョン推進方針」に基づき、ダイバーシティ＆インクルージョン（以下 D&I）を推進しています。本イベントへの出展は、多様な価値観やあり方への理解を深めるとともに、こうした当社の考え方を社外に広く発信する機会と位置付けております。また、社内においても意識の醸成につなげ、D&I の取り組みをより一層推進してまいります。

1．「Tokyo Pride 2026」出展について

「Tokyo Pride（主催：特定非営利活動法人東京レインボープライド）」は LGBTQ＋当事者およびその支援者（アライ）とともに、人権や多様性について考え、つながる“場”を提供することを目的に、2012 年より開催している LGBTQ＋の国内最大級のイベントです。6 月 6 日（土）・7 日（日）に東京都・渋谷区 代々木公園で開催され、当社グループとして 2 度目のブース出展を行いました。

当社グループのブースには 2 日間で約 2,500 名の方が来場。有志社員が来場者を迎え、LGBTQ+に関連する取り組みや事業・サービス等について対話をする貴重な機会となりました。

（1）当社グループのブースについて

当社グループのブースにおいては、「あなたにとって居心地がいい街ってどんな街？」の回答を書いたステッカーを貼っていく参加型パネルを用意した他、昨年に続き「LGBTQ+のマイホーム検討 自分らしいすまいを実現するマイホームハンドブック（以下「本ハンドブック」）」の設置や本ハンドブックを閲覧できる QR コードの配布を行いました。







左・中：ご来場者約 2,500 名が山・街・海が描かれたパネルいっぱいに「街にあったら良いと思う空間やサービス」を記入したステッカーを貼りました。レインボーにちなんだオリジナルグッズもご用意しました。
右：同性パートナー同士のマンション購入をサポートする「マイホームハンドブック」。

（２）「LGBTQ＋のマイホーム検討 自分らしいすまいを実現するマイホームハンドブック」 について
本ハンドブックは、同性パートナー同士での住宅ローン、セクシュアリティに関するカミングアウト等、LGBTQ+当事者の方が住宅購入を検討する際の情報を集約し、マイホームを持つ未来を考えるきっかけにしていただくためのものです。
ハンドブックを作成した野村不動産株式会社 レジデンシャル事業本部によると、2024 年時点で営業担当者の約48%が当事者のお客様を接客したというアンケート結果が出ています。「プラウド」の各物件ホームページにハンドブックの紹介サイトを設置し、LGBTQ＋当事者の方がモデルルームご来場前からお役立ていただけるようにしています。あわせて昨年に続き Tokyo Pride 会場でも配布しました。
紹介サイト URL：http://www.proud-web.jp/recommend/ally/

（３）来場者の方から寄せられた声
当社スタッフは多くのご来場者と対話をすることができました。一部を紹介します。
・このような対話の場を通して、より住みやすい街を作ってほしい。
・（マイホームハンドブックを見ながら）企業として当事者のためにこのような取り組みをしてくれるのは大変ありがたい。
・ブースに立ち寄ったことが思いを聞いてもらえる機会となり嬉しい。

２．当社グループの取り組みについて

野村不動産グループでは、2022 年に「野村不動産グループ ダイバーシティ＆インクルージョン推進方針」を策定し2030 年までに取り組むべき 5 つの重点課題（マテリアリティ）の一つに「D&I」を掲げています。当該方針に従い、今年度は初めて、当社グループの全役員を対象に E ラーニングの研修を実施しました。

この他にも継続して研修やイントラネットを活用した定期的な社内啓発活動等を通じ LGBTQ＋当事者を含む全ての従業員がいきいきと自分らしく安心して仕事に従事できるよう職場環境づくりに努めています。野村不動産を含むグループ 6 社では「パートナーシップ制度※１」を導入しており、「事実婚パートナーシップ」および「同性パートナーシップ」関係を希望する社員も、法律婚と同様の処遇や福利厚生制度の利用を可能にしています。

※１：一部利用対象外の制度あり

当社グループでは、「LGBTQ+インクルージョン」への取り組みは、事業活動に直結するテーマであると認識しております。Tokyo Pride 2026 への参加は、グループの役職員の理解・共感が進む機会であり、今後も新たな価値の創造を目指し、D&I を推進してまいります。

＜プライド月間の取り組み＞
・全役員・社員を対象とする研修（E ラーニング）を実施
・Tokyo Pride 事務局より講師を招き、参加希望制の D&I（LGBTQ+）研修※２を実施
・Tokyo Pride 2026 当日に向け協力社員を募集し説明会を実施
・本社ビル各階のサイネージを活用した啓発を実施
・本社ビル受付にレインボーのバラの生花を設置。コーヒーサーバーを期間限定でレインボーの特別仕様に変更等

※2：一部参加必須の部門あり



左（3 点）：本社フロアに掲出したサイネージ（一部掲載）。
中：レインボー月間のメッセージ付きポスターを掲示したコーヒーサーバー。
右：当社グループ本社の受付を彩るレインボーのバラ。

当社グループでは、「人と人がお互いを支えつながり合う、誰ひとり取り残さない社会」、「背景や価値観の異なる人々が個性を活かし合う創造的な社会」を実現するために重要である、ダイバーシティ　&インクルージョン推進における考え方を明確にする「野村不動産グループダイバーシティ＆インクルージョン推進方針」に基づき、今後もLGBTQ+を始めとしD&I に関連するさまざまな取り組みを推進してまいります。

野村不動産グループ ダイバーシティ＆インクルージョン（D&I）推進方針
野村不動産グループ ダイバーシティ＆インクルージョン推進方針 解説書

＜ご参考＞

野村不動産グループのマテリアリティと SDGs について

野村不動産グループ　マテリアリティ
DECARBONIZATION 脱炭素　BIODIVERSITY 生物多様性　CIRCULAR DESIGN サーキュラーデザイン　DIVERSITY & INCLUSION ダイバーシティ＆インクルージョン　HUMAN RIGHTS 人権

本リリースの取組が該当するマテリアリティ	野村不動産グループの取組特色	本リリースの取組が特に貢献するSDGs(持続可能な開発目標)
DIVERSITY & INCLUSION ダイバーシティ＆インクルージョン	D&I推進方針の施策や、多様な人材の活躍を促進することを通じて社会ニーズに応えられる商品・サービスを提供していきます。	5 ジェンダー平等を実現しよう　8 働きがいも経済成長も　10 人や国の不平等をなくそう　16 平和と公正をすべての人に　17 パートナーシップで目標を達成しよう

※野村不動産グループの重点目標（マテリアリティ）を国連の SDGs（持続可能な開発目標）に当てはめて整理しております。
サステナビリティの取り組み詳細は以下をご確認ください。
URL：https://www.nomura-re-hd.co.jp/sustainability/